

第6期 福岡市男女共同参画審議会（第5回）議事録

1. 開催日時 平成27年9月30日（水）16：30～17：45
2. 場 所 福岡市役所 1504会議室（15階）
3. 出席者（出席委員 14名）
相原委員、石川委員、岡崎委員、緒方委員、雁瀬委員、坂田委員、
鈴木委員、錦谷委員、原委員、久留委員、日高委員、藤井委員、
前田委員、増川委員
（欠席委員 4名）
甲斐委員、藤委員、中村委員、星乃委員
（福岡市 6名）
市民局長 外5名
4. 傍聴人 4名
5. 議 題（1）男女共同参画基本計画（第3次）の原案について
6. 議事概要（○…委員 △…事務局）

【議題1 男女共同参画基本計画（第3次）の原案について】

①総論

○ 先日、国の公聴会があつて、第4次計画の策定について説明もあつたが、その中にも、貧困、高齢、障がい等による困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備ということが入っている。この3次計画を見てみると、8から10ページの今後の課題と16、17ページの重点的に取り組む施策に、貧困等困難を抱えた女性への支援とか対応ということが出てこない。そして、各論のところでは基本目標の2、36ページに出てくる。

これは2次計画で課題が残ったから、3次計画で重点的に取り組みます、だから各論でこういう施策をやりますという流れにならないとおかしいのではないか。国もきちん

と書いているし、特に福岡市だけ困難を抱えた女性が少ないというわけでもないので、それはきちんと入れてほしいと思う。

- いくつか意見を出して、まとめて答えてもらう。
- 16ページの重点的に取り組む施策の4番、男女平等教育の推進について、「小・中学校における」とあるが、30ページの各論のところには、幼稚園から高等学校までと入っているの、ここも同じように書いてはどうか。
- 19ページの赤字部分で現状値として全体の数字が載っているが、全体の数字とは何の数字か。何と何を比較しているのか、改めて確認したい。
- ここだけ先に答えてほしい。
- △ この全体というのは、男性と女性をあわせた数字である。また、選択肢がある中で、仕事と家庭生活について、ともに優先したいという希望の割合と、ともに優先しているという現実の割合でギャップがあるということを示している。
- 大分工夫をしているが、全体というのがわかりにくいと思う。
- 女性、男性の数字も入れてはどうか。
- △ ここはもう少し工夫して、わかりやすくなるようにする。
- 45ページの表を見ると、一番理想と現実のギャップがあるのは緑の「仕事を優先」のところだと思う。
前回、仕事を優先したい、しているのところを消してしまったが、それでよかったのか。
- △ 前回は確かに仕事優先というところも出していたが、それは意に反して仕事を優先しているという意味合いで出していた。ただ、審議会の中で、ワーク・ライフ・バランスの中では家庭生活と仕事と両方バランスよく見ていくというのが大事なのに、仕事だけを主要にするのはどうかという議論があったので、今回は落としている。

- これは、ワーク・ライフ・バランスの指標であって、仕事を希望している人がどれだけできているかという指標ではないので、仕事と家庭生活が一番わかりやすいと思う。
- 7ページの赤字の3行、他都市の状況を鑑みというのは、これだけ読むとわかりにくいので、他都市の統計方法に倣いというふうに書いたほうがいいのではないか。
- その辺の表現は検討してほしい。
- 12ページの基本目標2のところ、最近、暴力の加害者が女性であることが増えてきた気がする。本文を読めば、DVやセクハラ、性犯罪の根絶ということでわかるが、目標2が女性への暴力になっているのはどうかと思うが、皆さんの意見を聞きたい。
- 統計でいうと、女性への暴力が圧倒的に多い。ただ、男性の被害者も若干多いのが殺人など。とにかく追い詰められて最後に殺すしかないというような状態では女性が加害者になることもあるが、やはり現状は女性が被害者のほうが圧倒的に多いと思うので、問題意識としてはこのとおりでいいと思う。
- 例えば、若い子たちと話をしていると、結構暴力的な女性も増えたという話も聞こえたりはするが、結局それも女性に対する暴力が根底にあるというのが見えてくるところもある。国の取組も、女性に対する暴力というふうに書いてはいるが、例えば若年男子であるとか高齢男性が被害に遭わないようにということも含めて国は見ているので、この表現についてはこれでいいのではないか。
- それでは、総論についての意見がいろいろ出たので、修正点と意見を整理して事務局から報告を。
- △ まず、貧困の部分が8～9ページ、16～17ページに出てこないという意見については、書き方を含め、内部で検討したい。

次に、16ページの男女平等教育の推進で、小・中学校だけではなく、幼稚園・高校まで拡大して記載するという意見については、教育委員会と調整したいと思う。

その他、先に修正する、検討すると回答したものは、しっかり対応する。

- それでは、ただいま事務局から報告された修正点を反映して、3次計画案の総論部分を作成するというのでいいか。

(異議なし)

②各論

- 27ページに28ページ以降の各論の構成を書いているが、28ページを例にとると、目指す姿という表題は書いてあるが、その後には、実現するにあたっての現状や課題などを記載していますと書いてあるので、それがどこに書いてあるのかなというのをぱっと見てわかるために、四角の下に「現状、課題」などと書いたほうがわかりやすいと思う。
- △ 28ページを例にすると、枠囲みで目指す姿と書いており、その下に、現状と課題を中心にまとめて書いているが、一部施策の方向性も入れており、現状と課題だけではないので、「現状、課題」という標記は付けにくいと考えている。
- 現状と課題は総論のところで書かれているので、またここで「現状と課題」と書くのはどうかと思う。
- 36ページで、削除した「その背景には、性別による固定的性別役割分担意識」や「経済力の格差」については、暴力をふるう背景は必要だと思うので削除しないでほしい。
- 性別役割分担意識が夫が妻を殴る理由になるというのは日本型のDVの特徴なので、性別役割分担意識が背景にあるということについては、むしろもっとはっきりさせたほうがいいと思う。背景を書くのであれば、これは残してもいいと思う。
- 「理由があればある程度の暴力を容認する風潮」という部分は削除してもいいのではないか。
- 例えば妻が浮気をしたような場合はひどい暴力が出るケースが多いが、それが「ある程度の暴力を容認する風潮」と言えるのか。また、以前のような社会的地位の差が暴力を生む背景になっているわけではない場合もあり、暴力をふるう理由は非常に多岐にわ

たってきているというのが現状だと思うので、これを背景として整理をするのは難しいと思う。

○ 「理由があればある程度の暴力は容認する」というのはわかりにくいので、ここは外してもいいと思う。

△ この部分は、再調整したい。

○ 一つは42ページの下から4行目。性同一性障がい「等」をつけてほしい。性的マイノリティーの方がいるので、性的指向を入れないなら「等」をつけてほしい。

もう一点は50ページの赤で書いてある上のほうの、「非正規雇用が多様な就業ニーズに応えるという意義」について、その前の文が、「非正規雇用で働く女性の割合は女性の就業者の半数」となっており、女性にとっては非正規雇用が意義がある部分もあるという印象を強く感じて、この表現が気になる。

△ 42ページの下から4行目については、この電話相談は、精神保健福祉センターで今年度から開始しているが、性的マイノリティー全般について相談を受けますとしておらず「等」はついてない。このため、ここには「等」を付けていない。

○ 50ページの非正規雇用のところは、意義という言葉が強いと思う。

○ ここは、「側面もある」や「点もある」という表現でいいのではないか。

△ ここで意義と書いたのは、前回の審議会の意見を踏まえて、国の第4次計画の原案の表現を参考にして修正したが、今日の意見を受けて再度調整したい。

○ それでは、各論についての意見がいろいろ出たので、修正点と意見を整理して、事務局から報告を。

△ 各論の構成の見出し部分がわかりにくいという意見については、もう一度検討したい。

36ページのDVの部分で、背景について削除した部分について、もう一度検討して調整したい。

50ページの非正規雇用の表現の仕方について、前後の文も含めてもう一度調整をした
い。

- それでは、ただいま事務局から報告があった修正点を反映して、第3次計画案の各論
部分を作成したいと思う。よろしいか。

(異議なし)

- △ 本日の修正後の確認については、会長、副会長に一任することでもいいか。

(異議なし)